

# 『大学教育総合センター紀要』創刊に寄せて

大学教育総合センター長  
教養教育主事  
高木まさき

横浜国立大学『大学教育総合センター紀要』の創刊に際しまして、ひとこと、お祝いの言葉を申し述べさせていただきます。

現在、各大学は、教育の改革・改善を図ろうという動きを活発化させております。その背景には、グローバルなレベルでの知識の創造や獲得の競争を前提とする「知識基盤社会」が到来する中で、大学における教育の質を高め、学生の学力を保証することが、たんに各大学の生き残り戦略として重要であるだけでなく、そこに高等教育機関としての社会的責任があるとの認識によるものだと考えられます。それは単に、知識を活用して産業を活性化し我が国の経済的豊かさを維持発展させるための人材が求められているという側面だけでなく、そうした社会をたくましく生きつつも、新たな社会を構想しその実現に向けて積極的かつ粘り強く行動できる人材の育成が社会の深いところでのニーズとして存在しているからだと思われまます。

そんな時代にあって、本学の大学教育総合センターは、平成15年4月に学内共同教育研究施設として、入学者選抜部、FD推進部、全学教育部、英語教育部の4部門からなる組織として発足し、その後、「横浜・協働方式による実践的キャリア教育—『キャリアデザインファイル』をつなぎ手としたキャリア・リーダーシップ力教育の構築」が文部科学省のGP「現代的教育ニーズ支援プログラム」に選定されたことで、平成19年度からはキャリア教育推進部も加わり、現在の5部門からなる組織となりました。そして内外に誇りうる誠実で優秀な専任教員等に支えられ、各部門ごと、或いは相互に連携を図りながら、全学に共通する教育上の諸課題に取り組み、その改革・改善を図る活動を、文字通り、本学教育の「センター」として推進し成果をあげてきました。

本センター紀要は、そうした教育改革・改善のプロセスにおいて、センターの専任教員等により達成された教育・研究の成果等を広く世に問うことで、本学のみならず国内外の大学教育の質の向上に資することを目的としています。

本紀要の創刊は、多忙な業務の合間を縫って、センター専任教員の先生方の入念な準備によって実現しました。ここに感謝を申し上げますとともに、その熱意と努力の成果をよりいっそう意味のあるものとするために、本紀要の大いなる発展を祈念して、お祝いの言葉とさせていただきます。